



2025年2月10日

各 位

上場会社名 日本カーボン株式会社
代表者 代表取締役社長 宮下 尚史
(コード番号 5302 東証プライム市場)
問合せ先 業務統括部長 藤川 浩史
(TEL. 03-6891-3730)

2024年12月期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2024年2月9日に公表しました「2023年12月期決算短信」に記載の2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年12月期の連結業績予想と実績値との差異(2024年1月1日~2024年12月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|---------------------------|---------------|--------------|--------------|-----------------|---------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 43,000 | 百万円 7,100 | 百万円 7,200 | 百万円 4,100 | 円 銭 371.23 |
| 今回実績値(B) | 37,956 | 6,319 | 6,692 | 4,078 | 369.03 |
| 増減額(B-A) | △5,043 | △780 | △507 | △21 | — |
| 増減率(%) | △11.7 | △11.0 | △7.1 | △0.5 | — |
| (ご参考) 前期実績 (2023年12月期) | 37,867 | 6,573 | 7,115 | 4,050 | 366.75 |

2. 差異の理由

ファインカーボン関連製品については、下半期の半導体向け需要の鈍化、設備投資関連需要の減速、ならびに販売品種構成により、また、電極材関連製品については、人造黒鉛電極の市況低迷により売価および販売量が低調に推移したことから、売上高および営業利益は当初の連結業績予想を下回る結果となりました。一方で、受取配当金の増加、為替差益、ならびに山梨工場跡地売却益が寄与したことから、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益への影響は限定的となりました。

以 上